

令和6年 2月25日(日)

12:00 開演 (11:00 開場)

二十五世観世左近記念 観世能楽堂

前売券：発売中

料金：全席指定(税込)


S席 10,000円 A席 9,000円 B席 8,000円

C席 7,500円 学生席 2,500円 (25歳以下、要学生証提示)

- ・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。お気軽にご参加ください。
- ・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催：公益財団法人十四世六平太記念財団

協力：一般社団法人喜多流職分会

助成：  文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))
独立行政法人日本芸術文化振興会

喜多流自主公演

令和六年二月

春日龍神 大島輝久
羽衣 金子敬一郎
芦刈 栗谷浩之

令和6年度 喜多流自主公演について

喜多能楽堂改修工事の為、令和6年度自主公演(令和6年4月~令和7年3月)の会場は **観世能楽堂** となります。

- ◆ 指定席券前売開始 令和6年2月1日(木) 午前10時~
- ◆ 令和6年度は全7回公演です。
- ◆ 令和6年度 喜多流自主公演年間優待券(税込)
7枚綴 56,000円 / 5枚綴 40,000円
発売開始 令和6年1月17日(水) 午前10時~
- ◆ 会場 観世能楽堂 [観世能楽堂ホームページ](#) ▶▶



チケット予約購入のご案内

インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>
(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL. 03-3491-8813
(午前10:00~午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

② 郵送

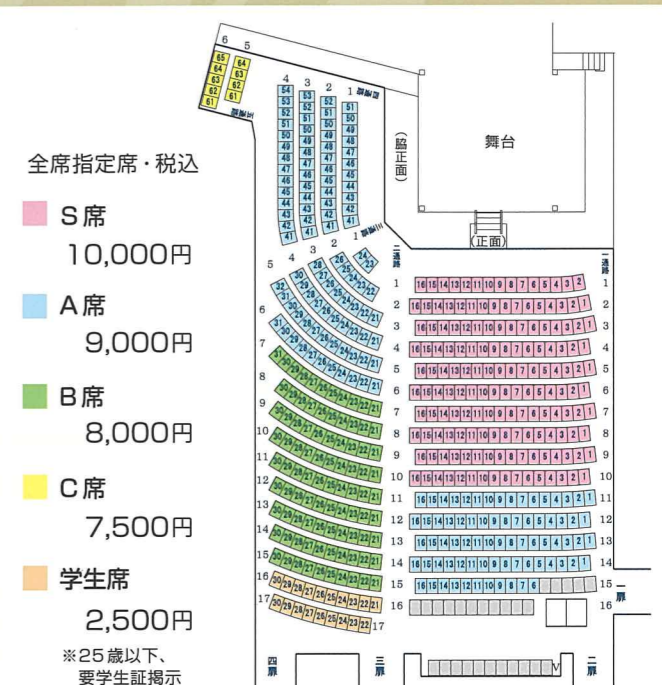
チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

- ※ お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。ご予約の際ご案内いたします。
- ※ ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

ご注意

- ・ロビーが混雑することがありますので、できるだけ開場時間に合わせのご来場をお願いします。
- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・能楽堂内に食堂はございません。GINZA SIXまたは近隣の飲食店をご利用ください。
- ・観世能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回りにご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

自主公演観客席御案内



会場案内

二十五世観世左近記念 観世能楽堂

〒104-0061 東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 地下3階
会場に関するお問い合わせ TEL. 03-6274-6579 (観世能楽堂)
観世能楽堂ホームページ <https://kanze.net/>

公演に関するお問い合わせ TEL. 03-3491-8813 (喜多能楽堂事務局)
喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>



- ・銀座駅 東京メトロ銀座線・日比谷線・丸の内線 A2出口、A3出口より徒歩2分
※ 銀座駅とGINZA SIX地下2階をつなぐ連絡通路がございます
- ・東銀座駅 東京メトロ日比谷線・都営浅草線 A1出口より徒歩3分
- ・有楽町駅 JR山手線・京浜東北線・東京メトロ有楽町線 銀座出口より徒歩10分
- ・車で越しのお客様 GINZA SIX内に併設の駐車場がございます。詳しくはGINZA SIXホームページにてご確認ください。
- ・能楽堂へは、三原通り側・トラベルローソン横のエスカレーター・エレベーターをご利用いただくと便利です。中央通り側入口からは、能楽堂までの直行エレベーター・エスカレーターはございません。
- ・土曜日・日曜日・祝日の中央通りは、歩行者天国となり、平日と異なりますのでお車でご来場の際はご注意ください。

能

佐藤 陽

シテ連・左衛門の妻
シテ・日下左衛門 栗谷浩之

芦刈

ワキ・従者 大日方 寛

ワキ連・従者 野口能弘

ワキ連・従者 小林克都

アイ・離波の里人 善竹大二郎

大鼓 安福光雄
小鼓 森 貴史
笛 槻宅 聡

後見 香川靖嗣
佐々木多門

地謡 高林昌司 友枝真也
佐藤寛泰 狩野了一
塩津圭介 大村邦生
谷友矩 友枝雄人

狂言

因幡堂

シテ・夫 善竹十郎 アド・妻 野島伸仁

休憩(二十分)

能

シテ・天女 金子敬一郎

羽衣

ワキ・漁夫白龍 殿田謙吉

舞込 ワキ連・漁夫 則久英志

ワキ連・漁夫 渡部 葵

大鼓 國川 純 太鼓 金春惣右衛門
小鼓 飯田清一 笛 一噌隆之

後見 友枝昭世
内田安信

地謡 金子龍晟 高林呻二
谷友矩 長島 茂
佐藤寛泰 出雲康雅
狩野祐一 内田成信

休憩(十分)

能

後シテ・龍神
前シテ・春日明神の仕人 大島輝久

春日龍神

ワキ・明恵上人 御厨誠吾

ワキ連・従者 梅村昌功

ワキ連・従者 野口琢弘

大鼓 柿原孝則 太鼓 梶谷英樹
小鼓 田邊恭資 笛 竹市 学

アイ・春日大社末社 善竹十郎

後見 塩津哲生
狩野了一

地謡 高林昌司 友枝真也
塩津圭介 長島 茂
佐藤 陽 中村邦生
狩野祐一 佐々木多門

附祝言

終了予定時刻 五時頃

芦刈(あしかり)

生活苦によって日下左衛門とその妻は離れ離れとなっていた。都に上って宮仕えをしていた妻は、ある日、夫を探しに津の国離波の、草香の里へとやって来る。夫を探し尋ね歩く一行のもとに、芦刈りの男が現れる。男は声(あし)と葦(よし)が同じ草であることや、御津の浜の由来などを尋ねられるままに語り、笠尽しの舞を見せる。

興の内から芦を求める妻に応じて、その御前に参上した男は果たして、別れた夫であった。零落した我が身を恥じる日下左衛門であったが、互いに和歌を詠み交わし心を確かめた後は、妻が都から持参した衣装に着替え、歌道の物語をし、喜びに舞を舞い、共に連れ立って都へ帰って行くのだった。

(約九十分)

因幡堂(いなばどう)

怠け者で大酒飲みの妻に愛想をつかした男、妻が里へ帰つたのを機会に離縁状を届ける。新しい妻をもらおうと京都因幡堂の薬師如来に願をかけ夜を徹して堂に籠っていると、これを知った前妻は立腹し、うたた寝の夫に、西門に立っている女を妻に定めるよう言い聞かせる。目を覚ました男は薬師如来のお告げと思い込み、喜んで西門へ行くと、前妻が先回りして被衣をかぶり顔を隠して立っている。男は女を家に連れ帰り祝儀の盃事になると女は酒のお代りをする。男が女の被衣を無理に取って対面すると、もとの妻であり妻は一方的に離縁した男の態度をなじり追い込んでいく。新しく授かった妻とともにいそいそと帰る男の姿、そして新しい妻は実はもとの妻だったというどんでん返しのお話。

(約二十五分)

羽衣舞込(はごろもまいこみ)

漁師白龍は、三保の松原の松に美しい衣が掛かっているのを見つける。持ち帰って家宝にしようとする白龍のもとに、持ち主である天女が姿を現す。その衣は天の羽衣で、衣がなければ天に帰れないと嘆く天女に対し、白龍は、返す代わりに天人の舞楽を見せてくれるように求める。衣を身に着けた天女は三保の松原の美しい景色を褒め称え、舞を舞い、宝を降らせながら舞い上がり、やがて天高く見えなくなってしまうのだった。

(約八十分)

春日龍神(かすがりうじん)

梅ノ尾の明恵上人は、仏教の深奥を知ろうと、大陸に渡り唐や天竺を訪れようとしていた。その暇乞いのために春日神社を参詣すると、一人の社人と行き合う。社人は、上人の入唐渡天を止めねば神慮に背くと言ひ、今はこの我が国こそが仏教の本拠地であり、春日の山は靈鷲山、春日の野は鹿野苑なのだ、と上人を諫める。入唐渡天の志を思い留まる上人に、社人は、釈尊の一生を悉く眼前に見せよう、と言ひ残り消えてゆく。(中人)
大地が振動し、数多の眷属を従えた龍神が現れる。釈尊が靈鷲山で仏法を説いた会座を見せ、神威を示し、釈尊の入滅まで悉く見せると、千尋の大蛇の姿を現し、猿沢の池に波を立てて消えてしまうのだった。

(約七十分)

令和六年三月二十四日(日) 正午始 自主公演番組予告

令和六年三月二十四日(日) 正午始

観世能楽堂

●会場 指定席券販売中

西王母 谷 大作
雲林院 佐々木多門
車僧 塩津 圭介